

科目名	公衆衛生看護学演習Ⅲ Public Health Nursing SeminarⅢ		担当教員 (研究室番号)	清水 真由美 (408)		教員への連絡方法 (メールアドレス)	mayumi.shimizu@mcn.ac.jp				
履修年次	1年次 後期	科目 区分	専門科目	選択 区分	コース 必修	単位数 (時間)	2(30)	授業 形態	演習	科目等 履修生	否
										遠隔授業	否
科目 目的	自己の取り組む研究テーマについて、研究計画書を作成することができる。										
ディプロ マ・ホリ ゾン (DP)	主要なDP	3. 地域の特性や変化する社会のニーズを的確に捉え、看護学教育および実践看護学に関する課題を追究していきける研究能力を身につけている。									
	関連する DP	1. 多様化・複雑化・高度化する看護ニーズを的確に捉え、看護の特定領域における高度な看護実践能力や総合的な調整能力を身につけている。									
到達 目標	1. 研究計画書を作成する。										
成績評価方法 (基準)	プレゼンテーション(40%)、レポート(40%)、演習に取り組む姿勢(20%)										
教科書	特に指定しない										
参考書等	資料・参考図書は随時紹介する。										
受講者への メッセージ	計画的に、積極的に演習に臨んでください。										
備考	公衆衛生看護学演習Ⅰ, Ⅱ終了後に開講する。										
回	学習項目			学習内容				主担当 教員	授業 方法		
1回	研究テーマと研究方法の実現可能性の検討			公衆衛生看護学演習Ⅱで選択した研究テーマと研究方法の実現可能性について、研究対象候補者やデータ収集予定施設などからヒヤリングなどを行い精査する。				清水	演習		
2回	研究テーマと研究方法の実現可能性の検討			公衆衛生看護学演習Ⅱで選択した研究テーマと研究方法の実現可能性について、研究対象候補者やデータ収集予定施設などからヒヤリングなどを行い精査する。				清水	演習		
3回	研究テーマと研究方法の実現可能性の検討結果を発表する			実現可能性の検討結果を踏まえて、研究テーマと研究方法を決定する。				清水	演習		
4回	研究計画書について			研究計画書作成の意義、作成上の注意点、よい研究計画書の条件について検討する。				清水	講義 演習		
5回	研究における倫理的配慮について			関連する研究倫理指針について学ぶ。選択した研究方法について、具体的な倫理的配慮の在り方を検討する。				清水	演習		
6回	研究における倫理的配慮についての発表			自己の研究における倫理的配慮について発表し、検討する。				清水	演習		
7回	研究計画書の作成			研究の背景、目的、意義、用語の定義、倫理的配慮を記述する。				清水	演習		
8回	研究計画書の作成			研究の背景、目的、意義、用語の定義、倫理的配慮を発表する。				清水	演習		
9回	研究計画書の作成			研究方法を記述する。				清水	演習		
10回	研究計画書の作成			選択した研究手法について、参考図書・文献などにより学びを深める。				清水	演習		
11回	研究計画書の作成			選択した研究手法について、参考図書・文献などにより学びを深める。				清水	演習		
12回	研究計画書の作成			選択した研究手法に合わせて、インタビューガイド、質問票などを作成する。				清水	演習		
13回	研究計画書の作成			選択した研究手法に合わせて、インタビューガイド、質問票などを作成する。				清水	演習		
14回	研究計画書の作成			研究協力依頼文書、同意書、同意撤回書などの資料を作成する。				清水	演習		
15回	研究計画書の発表			作成した研究計画書を発表し、内容について、討議する。				清水	演習		